

平成28年度 市国民健康保険特別会計予算

安定した国保事業運営を

国民健康保険（国保）は、病気やけがのときに安心して医療が受けられるよう、被保険者が保険税を出し合い、必要な医療費に充てて相互に助け合う制度です。

また、国保は、一会計年度を単位として収支する短期保険であり、毎年度、保険給付費等歳出に見合った適正な国保税率を設定・課税し、その収入を確保することが事業運営の基本かつ前提です。

国保税の改定について

国から示される後期高齢者支援金分と、介護納付金分の納付金額が前年度と比較して減少したことに伴い、国保税として徴収しなければならない税額も減少し、それに合わせ

て国保税率を引き下げることが可能となりました。

歳入・歳出の主な増加要因

歳入の主な増加要因は、前年度と比べ、前期高齢者交付金が1億8,928万円（6.7%）、共同事業交付金が9,919万円（4.0%）、繰入金が8,362万円（9.5%）、国庫支出金が8,085万円（3.6%）増えたことなどです。

歳入に占める国民健康保険税の割合は約18.5%で、大半は国、県などの支出金で賄われています（図1参照）。

歳出の主な増加要因は、前年度と比べて、保険給付費が1億7,512万円（2.4%）、共同事業拠出金が7,301万円（2.9%）増えたことなどです。

歳出に占める割合が最も大きいのは保険給付費で、共同事業拠出金、後期高齢者支援金等、介護納付金と

なっています（図2参照）。

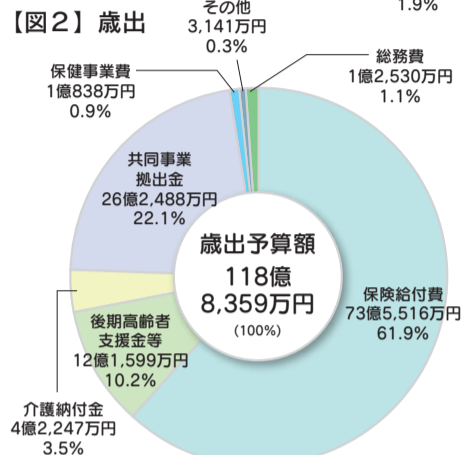
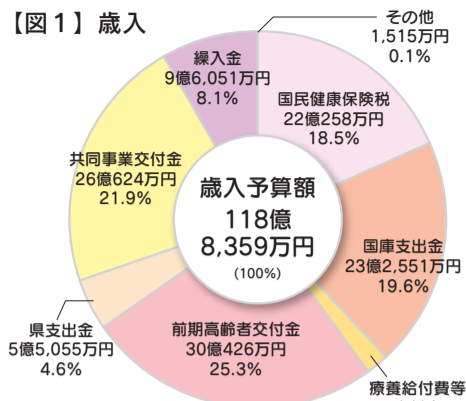
国保税は、被保険者の保険給付費、後期高齢者支援金、介護納付金に充てられていて、国保事業の運営経費（事務員や職員の人件費、郵送料など）には一切使われていません。

みなさんが安心して医療が受けられる

将来にわたって、誰もが安心して医療が受けられる制度として維持・継続していくため、引き続き医療費適正化の取り組みにまい進していきます。市民・被保険者のみなさんの理解と協力をよろしくお願いいたします。

問い合わせ先
国保医療課国民健康保険係
☎(36) 1363

歳入、歳出の内訳（単位：万円）



● 避難場所の確認
避難時に落ち着いて行動できるように避難場所や避難経路について確認しておく

● 非常食などの確保
避難勧告や避難指示が出たときに、すぐに避難できるように貴重品や非常時持出品を準備しておく

● 外出は控える
豪雨・暴風の危険性がある時は、不要不急の外出は控える

● 自宅の点検
雨樋（あまどい）の修繕、雨戸の補強、自宅や周辺の側溝などを点検しておく

● 風水害への対策
発生が予測できる風水害は、日頃の備えや早めの避難で被害を最小限に防ぐことができます。

● 避難時に気を付けること
浸水前に早めに安全な場所への避難（水平避難）が原則。夜間や浸水後の避難は無理をして移動をせず、近隣ビルの高層階や自宅の2階といった高い場所への避難（垂直避難）も有効。

今だからこそ 災害対策！

今年4月、最大震度7という熊本地震が発生。本市でも震度4を観測しました。また、梅雨の季節を迎え、大雨や土砂災害も心配されます。災害に対する備えをしましょう。

● 収納の工夫
重いものは下に、軽いものは上に収納する

● 家具などの置き方の工夫
家具の下に転倒防止のビニール樹脂状のものを入れ、壁にもたれ気味にしておく

● ガラスの飛散防止
割れたガラスが飛び散るのを防ぐため、ガラス飛散防止フィルムを貼る

● 耐震金具の利用
転倒防止金具、重ね留め用金具、扉・引き出し開放防止金具などを家具や棚に設置する

● もし地震が発生したら
地震が発生したら慌てず落ち着いて、身の回りの安全を確認しましょう。大きな揺れを感じたら、土砂災害の危険が予測される地域は崖などの危険な場所から避難を。沿岸部は津波の恐れがあるので高台へ素早く避難しましょう。

● 地震への対策
突然発生する地震。建物が倒壊しなくても、大きな家具の転倒、ガラスの飛散などで逃げ場をふさがれたり、ケガをしたりすることがあります。家具の固定や配置方法の工夫はすぐに行うことができます。



● 耐震金具の利用
転倒防止金具、重ね留め用金具、扉・引き出し開放防止金具などを家具や棚に設置する

● もし地震が発生したら
地震が発生したら慌てず落ち着いて、身の回りの安全を確認しましょう。大きな揺れを感じたら、土砂災害の危険が予測される地域は崖などの危険な場所から避難を。沿岸部は津波の恐れがあるので高台へ素早く避難しましょう。

● ガラスの飛散防止
割れたガラスが飛び散るのを防ぐため、ガラス飛散防止フィルムを貼る

● 耐震金具の利用
転倒防止金具、重ね留め用金具、扉・引き出し開放防止金具などを家具や棚に設置する

情報が命を守ることも

気象情報や避難情報が命を守る必要があります。災害時はテレビ、ラジオ、インターネットなどで最新情報の入手を心がけましょう。

市では、携帯電話やパソコン、ファクスで災害情報を受け取ることができます。緊急情報伝達システムを整備しています（登録無料。通信料がかかります）。詳細は「防災マップ」15ページ参照。市防災HP <http://www.munakata-dousai.jp/>も開設しています。

会場 宗像ユリックス
福岡県宗像市久原 400

6/24(金) 10:00~12:00 会議室8
6/25(土) 10:00~12:00 会議室6・7

会場 メイトム宗像
福岡県宗像市久原 180

7/8(金) 14:00~16:00 102 会議室
7/9(土) 9:30~11:30 103 会議室

主催：一般社団法人市民講座運営委員会
東京都千代田区富士見 1-6-1-10F
協賛：プロタイムズ福岡北店 株式会社フクモト工業
福岡県宗像市自由ヶ丘 11-22-3

市民講座 屋根・外壁塗り替えセミナー

全国各地で年間400回以上の市民講座を開催してきた一般社団法人市民講座運営委員会が、このたび、宗像市の会場で、後悔しない塗り替え施工のノウハウを一般の方にも分かりやすく専門家である外装劣化診断士から聞ける市民講座を開催する。参加は無料だが、電話申し込みが必要。

外壁・屋根の塗装は、専門的な知識や技術が必要のため施工業者を信頼してすべてを任せざるを得ない。しかし、専門的な知識を持ついるはずの施工業者が正規の施工仕様を守らず、自己基準の施工をして不良施工になるケースが後を絶たない。その為、工事後1年以内に全体の3割でトラブルが生じるともいわれる。信頼できる施工業者を選ばず、信託できる消費者にも正しい知識を身に付ける事が求められている。そこで、この市民講座では信頼できる業者の選び方、見積書や塗装仕様書の注意点を詳しく分かりやすく説明する。

参加申し込みは電話でプロタイムズ福岡北店 ☎0120-041-075（月～土午前9時～午後6時）